

★ OISR-WATCH ★

[illegible]

日本経済は、前年からの景気後退がさらに深まり、これまでにない厳しい状況になりました。雇用情勢も急速に悪化し、雇用者数が戦後初めて前年を下回り、完全失業率も過去最高を記録してアメリカに並びました。雇用・労務慣行も変容しつつあり、早期退職優遇制度による雇用削減や成果主義型賃金制度の

導入なども進められています。
労働政策では、改正労働基準法が成立して裁量労働制の大幅な導入への道が開かれました。改正労働者派遣法も国会に上程されましたが、結局、継続審議になりました。労基法改定問題では、当初、改定反対で連合や全労連の足並みがそろい、連合も大衆行動に取り組みましたが、その後修正案をめぐって見解が分かれ、最終的に連合は賛成に回りました。このような98年の日本を、本書は対象としています。

この第69集も、12年前から採用した5部構成をとっています。すなわち、序章と特集を別にして、全体を、(1)労働経済と労働者の生活、(2)経営労務と労使関係、(3)労働組合の組織と運動、(4)労働組合と政治・社会運動、(5)労働・社会政策の5部に分けています。
『日本労働年鑑』の詳しい目次については、
<http://oisr.org/nenkan/nenkan69.html#mokuji>
をご覧ください。

特集では、「国際労働組合運動の50年」が取り上げられています。この特集は、第2次世界大戦後における国際労働組合組織の歴史と現状をテーマとし、国際自由労連、世界労連、国際労連などの活動を振り返り、これらの組織と日本の労働組合との歴史的な関わりについても明らかにしています。また、89年のソ連・東欧の激変以降における国際労働組合組織の動向についても、詳しい情報が提供されています。このほか、これまであまり知られていなかった、国際自由労連のアジア・太平洋地域組織、国際産業別組織、経済協力開発機構の労働組合諮問委員会、先進国労働組合指導者会議(レイバーサミット)などについても、役に立つ情報が提供されています。

1999年2月9日は、大原社会問題研究所の創立80周年に当たります。またこの年は、法政大学との合併50周年の記念すべき年でもあります。創立記念日には、創立80周年・合併50周年記念事業として、大原デジタルライブラリー(電子図書館・資料館)を開設し、インターネットによる所蔵図書・資料の公開という新しい分野に乗り出しました。過去から未来へ、80年の歴史をふまえて、研究所の活動は新たな地平を切り開きつつあります。

なお、当研究所では、本年鑑に関連する資料や論文を、当研究所の月刊誌『大原社会問題研究所雑誌』に収録しています。本年鑑とともに、活用していただければ幸いです。
(いがらし じん・専任研究員)

『日本労働年鑑』第69集(1999年版)
法政大学大原社会問題研究所 編
旬報社 刊
定価 15,000円+消費税
全国書店で販売中

◇◇大原デジタルライブラリーがYahoo! Japan「今週のオススメ」に紹介される。◇◇

Yahoo! Japan「今週のオススメ」(6月14日号)に <http://www.yahoo.co.jp/picks/990614.html>
大原デジタルライブラリーが紹介された。デジタルライブラリーの概要に加え、「創立50周年や100周年の記念に校舎を建てたり学部を増やしたりする大学は多いが、電子図書館を開設したというのは日本で初めてだろう。リアルな世界にではなく、バーチャルな世界にアニバーサリーの碑を打ち建てた同研究所の見識に敬意を表したい」というコメントをいただいた。

【1999年6月11日～6月25日】
新 着 一 覧

△▼△▼△ 新着情報 △▼△▼△

★OISR-WATCH NO.4”を掲載(99.6.12)

【 大原デジタルライブラリー(電子図書館・資料館) 】

<http://oisr.org/dglb/index.html>

★ E-Textリンク集 ★ (WWW上に存在する社会・労働関係のE-Textへのリンク集につぎの論文へのリンクを加えました)

<http://oisr.org/sp/etextlink.html>

(1) 在日朝鮮人台湾人参政権「停止」条項の成立

—在日朝鮮人参政権問題の歴史的検討(1)—(水野 直樹)(99.6.22追加)

(2) 在日朝鮮人・台湾人の参政権「停止」条項の成立(続)——在日朝鮮人参政権問題の歴史的検討(2)——(水野 直樹)(99.6.22追加)

(3) 在満朝鮮人親日団体民生団について(水野 直樹)(99.6.22追加)

(4) 戦時期の植民地支配と「内外地行政一元化」(水野 直樹)(99.6.22E追加)

(5) 京都における韓国・朝鮮人の形成史(水野 直樹)(99.6.22E-Textリンク集に追加)

★『大原雑誌』書評欄 ★ (電子図書館の『大原社会問題研究所雑誌』書評欄オンライン版につぎのファイルを追加し、収録数は 6月22日に200点に達しました。)

<http://oisr.org/shohyo/>

◎掲載書評数が増えたため、書評データベースを新たに設けました。著者名、評者名、書名(その一部でも)、また件名で検索できます。

<http://oisr.org/kensaku/shohyodb.html>

(1) ジュリアン・ジャクスン著/訳者代表:向井喜典『フランス人民戦線史——民主主義の擁護,1934—38年』評者:相沢 与一(99.6.22掲載)

(2) 全日本民間労働組合連合会『連合「組織方針」作成に向けた中間報告・産業別組織の機能の現状調査報告書』評者:浅見 和彦(99.6.22掲載)

(3) 西村裕通著『現代社会政策の基本問題』評者:高田 一夫(99.6.21掲載)

(4) 篠田徹著『世紀末の労働運動』評者:手島 繁一(99.6.21掲載)

(5) 戸塚秀夫／中村圭介／梅澤隆著『日本のソフトウェア産業——経営と技術者』評者:八幡成美(99.6.21掲載)

(6) 氏原正治郎『日本の労使関係と労働政策』、同『日本経済と雇用政策』評者:舟橋尚道(99.6.21掲載)

(7) 熊沢誠『日本的経営の明暗』評者:平井 陽一(99.6.21掲載)

(9) 岡本秀昭編著『国際化と労使関係——日本型モデルの含意』評者:亀山 直幸(99.6.21掲載)

(10) 田坂敏雄編著『東南アジアの開発と労働者形成』評者:小林 英夫(99.6.21掲載)

(11) 乾彰夫著『日本の教育と企業社会』評者:元島 邦夫(99.6.21掲載)

- (12) 多田吉三著『日本家計研究史』評者:伊藤 セツ(99.6.20掲載)
- (13) 舟橋尚道著『経済環境と労使関係』評者:小野 恒雄(99.6.20掲載)
- (14) 沖縄タイムス社編『50年目の激動——総集 沖縄*米軍基地問題』評者:高野 和基(99.6.20掲載)
- (15) 寄本勝美著『自治の形成と市民——ピッツバーグ市政研究』評者:高野 和基(99.6.20掲載)
- (16) 鈴木徹三著『片山内閣と鈴木茂三郎』評者:吉田 健二(99.6.20掲載)
- (17) 南佐久農民運動史刊行会編『南佐久農民運動史(戦後編)』評者:大野 節子(99.6.20掲載)
- (18) 児玉勝子著『十六年の春秋——婦選獲得同盟の歩み』評者:大野 節子(99.6.20掲載)
- (19) 井上雅雄著『日本の労働者自主管理』評者:下田平 裕身(99.6.20掲載)
- (20) 戸木田嘉久著『現代資本主義とME化』評者:鷲谷 徹(99.6.20掲載)
- (21) 佐藤一著『戦後史検証 一九四九年——「謀略」の夏』評者:高野 和基(99.6.18掲載)
- (22) 宮島喬／梶田孝道編『統合と分化のなかのヨーロッパ』評者:佐伯 哲朗(99.6.18掲載)
- (13) I. ブルマ著・石井信平訳『戦争の記憶——日本人とドイツ人』評者:高野 和基(99.6.18掲載)
- (14) 小林謙一・川上忠雄編『韓国の経済開発と労使関係』評者:滝沢 秀樹(99.6.18掲載)
- (15) 小林謙一編著『病院ケース・スタディー—看護マンパワーの雇用管理と公共政策』評者:井上 信宏(99.6.17掲載)
- (16) 佐口和郎著『日本における産業民主主義の前提—労使懇談制度から産業報国会へ』評者:三輪 泰史(99.6.17掲載)
- (17) Michael Lewis(マイケル・ルイス)著Rioters and Citizens: Mass Protest in Imperial Japan(『暴徒と市民——帝国日本における大衆的抗議』)評者:アンドリュー・ゴードン(Andrew Gordon)(99.6.16掲載)
- (17) Mary Saso Women in the Japanese Workplace(メアリー・サソ 著『日本企業で働く女性』)評者:アンドリュー・ゴードン(Andrew Gordon)(99.6.16掲載)
- (18) E. Patricia Tsurumi Factory Girls: Women in the Thread Mills of Meiji Japan (パトリシア・ツルミ著『女工:明治日本の製糸・紡績工場の女たち』)評者:アンドリュー・ゴードン(Andrew Gordon)(99.6.16掲載)
- (19) Rashid Amjad(ed.) "To the Gulf and Back: Studies on the Economic Impact of Asian Labour Migration" 評者:石井 知章 (99.6.16掲載)
- (20) 嶺学著『労働の人間化を求めて』評者:菊野 一雄(99.6.16掲載)
- (21) 清家篤著『高齢者の労働経済学——企業・政府の制度改革』評者:町田 隆男(99.6.16掲載)
- (21) 国武輝久著『カナダの労使関係と法』評者:秋田 成就(99.6.15掲載)
- (22) 手塚和彰著『労働力移動の時代』評者:鈴木 宏昌(99.6.15掲載)
- (23) 江口英一編『日本社会調査の水脈 ——そのパイオニアたちを求めて』評者:徳永 重良(99.6.15掲載)

- (24) 荻野富士夫著『北の特高警察』評者:大野 節子(99.6.13掲載)
- (25) 上原章三・増岡敏和編『一燈を凝視めて——赤木健介拾遺集』評者:大野 節子/赤木健介遺稿集編纂委員会編『赤木健介追悼集』評者:大野 節子/塚平広志・相波三郎『伊那谷を花咲く大地に——農民解放の先駆者鷺見京一の歩んだ道』評者:大野 節子(99.6.13掲載)
- (26) 阿部五郎・後藤太刀味著『探索・近代山形の社会主義運動』評者:吉田 健二(99.6.13掲載)
- (27) 師岡武男・仲衛監修・編著『証言構成:戦後労働運動史』評者:吉田 健二(99.6.13掲載)
- (28) 後房雄編著『大転換——イタリア共産党から左翼民主党へ』評者:福田 富夫(99.6.13掲載)

【社会労働関係リンク集】
<http://oisr.org/links/toc03.html>

★ 社会・労働関係リンク集 ★
(つぎのサイトを追加し、あるいはURLを訂正しました。)

- (1) 女性の歴史と未来館(99.6.24追加)
- (2) 知多地方教職員労働組(99.6.24追加)
- (3) スワジランド労働組合連盟(99.6.22URL変更)
- (4) サンマリノ労働連盟(CSDL)(99.6.22URL変更)
- (5) ポルトガル労働総同盟(CGPT)(99.6.22URL変更)
- (6) アメリカ教員連盟(AFT)(99.6.22URL変更)
- (7) イギリス大学教員組合(AUT)(99.6.22URL変更)
- (9) 大学教員組合(スコットランド)(99.6.22URL変更)
- (10) アメリカ通信労働組合(CWA)(99.6.22URL変更)
- (11) アメリカ ホテル・レストラン従業員組合(HERE)(99.6.22URL変更)
- (12) ルーマニア(FRATIA)(99.6.22URL追加)
- (13) ポルトガル(UGT)(99.6.22URL追加)
- (14) Gosudarstvennaia Publichnaia Istoricheskaia Biblioteka (99.6.21URL変更)
- (15) Institut Emile Vandervelde(99.6.21URL変更)
- (17) Centre de Recherche d'Histoire des Mouvements sociaux et du Syndicalisme(99.6.21URL変更)
- (18) Maison des Sciences de l'Homme(99.6.20URL変更)
- (19) Hyperlinks to trade unions(99.6.20URL変更)
- (20) ハワイ大学労働問題教育研究センター Center for Labor Education & Research(99.6.20URL変更)
- (21) プリンストン大学労使関係図書館(Industrial Relations Library)(99.6.20URL変更)

- (22) Labor-Management Documentation Centerコーネル大学(99.6.20URL 変更)
- (23) Archif Wleidyddol Gymreig (Welsh Political Archive) (99.6.20URL 変更)
- (24) Fondazione Luigi Micheletti(99.6.20URL 変更)
- (25) Sozialwissenschaftliche Studienbibliothek(99.6.20URL 変更)
- (26) Archiv und Bibliothek der sozialen Demokratie(Friedrich-Ebert-Stiftung)
(99.6.20URL 変更)
- (27) Lenin Museo(99.6.20URL 変更)
- (29) 一宮市教職員労働組合のホームページ (99.6.18追加)
- (30) 茨城大学教職員組合ホームページ(99.6.17追加)
- (31) 4コマまんがホームページ(99.6.16追加)
- (32) 東京大学社会科学研究所(日本語版)(99.6.16追加)
- (33) 三菱樹脂労働組合 (NET-Hato)(99. 6.15追加)
- (34) 中島地方教職員労働組合(99.6.15 URL 変更)
- (35) 家具の大正堂分会(99.6.14URL 変更)

【 スタッフ個人サイト 】

★ スタッフ個人サイト ★
<http://oisr.org/links/toc04.html>

○個人サイトの近況○

☐ 二村一夫著作集 (<http://oisr.org/nk/>) : 書評欄の制作など諸事情が重なって、まだ手が着きません。次回までには更新開始のお知らせをしたいと思います。

☐ 「五十嵐仁ホームページ」 (<http://oisr.org/iga/home.htm>) は更新を頻繁に行っています。

☐ “Akira Suzuki’s Japan Labor Information” (<http://oisr.org/aki/>) は、“Akira Suzuki’s Japan Labor Research Information”に名称を変更しました。また、「最近出版された労使関係文献(日本語)の英文紹介」を追加しました。

☐ 小関隆志のページ (<http://oisr.org/koseki/>) は最近更新はありませんが、近いうちに新たな情報を追加するとのことです。

☐ ソキウス(野村一夫) (<http://socius.org>) は更新を頻繁に行っています。

【 研究所刊行物 】
<http://oisr.org/pub/toc05.html>

★ 『日本労働年鑑』 ★
『日本労働年鑑』第69集(99年版)概要・目次 を掲載。(99.6.25)

【 英語版 】

★今回は、情報の追加はありませんが、
日本の労働運動・労使関係英文リストは継続して更新しています。

△▽△▽△▽△▽△▽△▽ O I S R コ ラ ム △▽△▽△▽△▽△▽△▽
このコーナーは、当研究所関係者のコラムを掲載します。今回は、二村一夫
名誉研究員、野村一夫兼任研究員、遊座圭子所員の記事を掲載します。

社会・労働関係サイト探検(4)

二村 一夫

今回は、IALHI加盟機関で注目すべきサイトについて紹介する予定であった
が、研究機関ばかり続くので予定を変更し、LabourStart
<http://www.labourstart.org/>
を探検しよう。

このサイトは、The Labour Movement and the Internet; the New
Internationalism (労働運動とインターネットー新たな国際主義)の著者で
あるエリック・リー(Eric Lee)が運営しているもので、世界の労働運動家が
インターネットに接続するとき、まず最初にアクセスする「ホームページのホ
ームページ」を目指して制作、運営されている。
はじめはカナダの公務員組合(CUPE=Canadian Union of Public Employees)
が運営するSolinetにサーバーを置き、リー自身はイスラエルのキブツで働き
ながら、その維持管理をおこなっていた。しかし、昨年の6月にリーはロンド
ンに移り、Labour and Society Internationalを本拠にこのサイトの運営に専
念するようになった。

このサイトではToday's labour news として世界各国の労働運動の動向が、
さまざまな新聞記事や独自の取材で提供されている。なかでもLabourStartが
力を入れているのは韓国の労働運動の動向で、特別取材によるニュースも提供
されている。

このほか、アマゾンと提携して労働関係の文献やビデオが紹介され、その場で
購入することも出来る。国別に分類されているので、最新の労働関係文献につ
いて知りたいなら、いきなりamazon.com に行くより、このサイトで見た方が
効率的である。

また、Labour Website of the Week は、いわば毎週のお勧めサイトの紹介で
ある。このほか Webmasters' Forum 、Urgent Actions 、労働関係リンク集
のリンク集である Directory of Directories など多彩な内容からなり、世界
の労働運動サイトへの最高の道案内となっている。

なお、現在、同サイトにアクセスすると、いきなり真っ黒な画面があらわれる。
これは、天安門事件10周年に際し、事件の犠牲者に対する追悼の意を表するた
めであるという。

問題はアクセス数が多いためか、かなり重い場合があることで、そうした時に
は、つぎのミラーサイトを試していただきたい。
<http://members.tripod.co.uk/labourstart/index.html>

ところで、このサイトは世界の労働組合運動サイトへの最適のgatewayだが、
残念ながら日本に関するニュースやリンクはないに等しい。これは制作者も意
識しており、ごく最近エリック・リーから オンラインNewsletterの日本の読
者に向け、英語でのニュース提供の呼びかけがあった。関心のある方は彼のメ
ールを転送しますので、nk@oisr.org 宛てにご連絡ください。

また、Eric Lee の著書 The Labour Movement and the Internet; the New
Internationalism については、『大原社会問題研究所雑誌』478号(1998年
9月)でやや詳しい紹介をしました。これは、私の個人サイトでも読むことが
出来ます。

以上

(にむら かずお・名誉研究員)

◇○◆●◆◇○◆●◆◇○◆●◆◇○◆●◆◇○◆●◆◇○◆●◆
ウェブ・スタイリストの生活と意見[4]採点される採点官
野村一夫(兼任研究員)

タグのつけ方にも作法があります。たんにブラウザで表示できればいいとい
うのであれば泥縄でもできますし、Wordなどで自動生成することもできます。
けれども、見た目の表示はできているようでも、サーチエンジンの送りこむロ
ボットはそれを正しく読むことができません。大きな字にしたいためにH1タグ
をつけてあれば、ロボットはそれを論理的に第一水準の見出しと判断してイン
デックスを作ってしまう。そのため、検索する人のもとにはゴミとしか思
えないようなページばかりがリストアップされることになるのです。
OISR.ORG では、徐々にですが、W3C の HTML4.0 Transitional に準拠したペ
ージづくりに切り替えています。HTML4.0 はウェブにかかわるあらゆる人び
とや組織が準拠すべき規準として討議され提起された仕様書です。ブラウザも
これに準拠することになっています。この「HTML4.0仕様書」のボランティア
による日本語訳が<http://www.asahi-net.or.jp/~sd5a-ucd/rec-html40j/>にあ
りますから、一度アクセスしてみてください。これがもとのもとです。
OISR.ORG では、公開の仕方(スタイル)についても先端的かつ洗練されたも
のをめざして、将来の社会科学系サイトの範となるものにしたいと願っていま
す。それには「正しいオーサリング」が必要です。ウェブ・スタイリストが
日々スタッフのページに目を光らせ、タグのつけ方についてあれこれ文句をい
うのはそのためですが、では、そのスタイリストの作成したページは完璧なの
でしょうか。
HTMLチェッカーというのがあります。それで OISR.ORG のトップページを検
証してみましょう。まずシェアウェアのチェッカーとして評判のある“CSE
HTML Validator v3.05”から(<http://www.htmlvalidator.com>)。結果は次のと
おりです。

[CSE] No errors or warnings were detected!
Number of lines checked: 120 in 0.33 seconds
Number of programs run: 191
Number of lines in HTML file: 128 (93.8% of lines checked)
Number of lines ignored: 8
Number of character entities: 1
Number of tags: 161
Number of closing tags: 131 (81.4% of tags closed)
Number of <% ... %> sections: 0
Number of HTML comments: 0
Number of validator comments: 1
Number of messages: 10
Number of errors: 0
Number of warnings: 0

要するに、エラーはないが、改善の余地のあるところが計11あるとのこ
とです。「今回は許してやるが、ちょっと勉強せい」ということですね。

つぎに有名なAnother HTML-lint
(<http://openlab.ring.gr.jp/k16/htmlhint/htmlhint.html>)にトップページを
チェックさせてみると、

<http://oohara.mt.tama.hosei.ac.jp/index.html> を HTML4.0 Transitional として
チェックしました。
58個のエラーがありました。このHTMLは 39点です。タグが 26種類 161組使われて
います。

ということで、総合評価は「ふつうです」でした。いやはや、きびしい。正
しきHTMLへの道はまだまだ遠いといわざるをえません。くれぐれもスタッフは
精進するように。あ、私のことでしたか。

(のむらかずお・兼任研究員・社会学)

OISR.ORGでは皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
更新情報ニュースレター“OISR-Watch”（無料）をご希望の方は
こちらにお申し込みください。

E-mail: webmaster@oisr.org

購読を中止するときはこちらにご連絡ください。

法政大学大原社会問題研究所 (<http://oisr.org>)

〒194-0298 東京都町田市相原町4342
TEL 042-783-2307 FAX 042-783-2311

〔1999年6月25日開始、担当・鈴木玲〕

OISR-WATCH (Table of Contents)

[法政大学大原社会問題研究所 \(<http://oisr.org>\)](http://oisr.org)
